



島と陸をつなぐ、

無数の赤い糸

五十嵐靖晃 《海渡り》

100人を超える参加者が集まった《海渡り》。
9/23(金)に開かれたこの日の様子をお届けします。

9月23日(金)、五十嵐靖晃
アートプロジェクト「つなぎ
まちのつなぎかた」で展示す
る作品《海渡り》の制作が旧

赤崎小学校近くで開かれまし
た。参加者は弁天島と陸をつ
なぐ102本の糸を張ってい
きました。糸は弁天様のまな
ざしと海からの視点を表現。
そしてまた、島を往来する
人々の歩みの軌跡を糸に乗せ
てかたちにしています。
最後の102本目の糸は全
員で島へも運んでいきまし
た。五十嵐さんは「みんな
で1本持つていくときに、祈り
の道をとどっているように見
えた《海渡り》を通じて、
この土地でずっと続いてきた
お祭りをアートの力で継承し
ていく新しい形を作りたいか
つ」と話していました。

弁天様のお祭りを続けてきた
松田テル子さん(左)

1.《海渡り》を背景にみんなで記念撮影 / 2.号令をかける五十嵐さん / 3.弁天島
から見た《海渡り》 / 4.地元のお母さんたちによる豚汁やおにぎりのふるまい /
5.糸を引き寄せてしっかりと固定 / 6.最後の糸は参加者全員でつないだ / 7.参
加者たちが陸から島に糸を運ぶ / 8.力強く糸を引く競舟チームの津奈木海龍